

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	現代英語B
科目基礎情報					
科目番号	0004		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	海事システム学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	『Giga Booster for the TOEIC L&R TEST』(金星堂) 『理工系学生のための必修英単語2600』(成美堂)				
担当教員	鈴木 聡				
到達目標					
1.国際的に通用する海事技術者として高度な能力を身につける。 2.国籍、文化、風習の相違を認め合いながら、正しいリーダーシップを取ることができる人間としての資質を身につける。 3.状況を正しく認識し、問題を明確化し、それを解決できる問題解決能力を身につける。 4.環境問題に海事技術者の立場で適切に対応できる見識を身につける。 5.グローバルな視点のもとで、現実に生活している地域社会の諸問題の解決に参画できる社会人としての資質を身につける。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		文のイントネーションや区切りを理解し、音読できる。	発音記号などを参考にしながら音変化を理解できる。	英語の音を聴いて正しく理解できず、発音できない。	
評価項目2		高等学校レベルの語彙・文法力を応用することができる。	高等学校レベルの標準的な語彙・文法力を身につけている。	中学既習の語彙・文法力を身につけていない	
評価項目3		200語程度の英文で自分の意見を言うことができる。	120語程度の英文で自分の意見を言うことができる。	英語で自分の意見を言うことができない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1. 国際的に通用する海事技術者として高度な能力を身につけるために、様々な国籍、文化、風習の相違を認め合うことができるコミュニケーション能力を育成する。 2. グローバルな視点のもとで、現実に生活している地域社会の諸問題の解決に自主的に参画できるコミュニケーション能力を育成する。				
授業の進め方・方法	授業開始時に毎回英単語の小テストを行う。 授業では、TOEIC TESTへの対策問題の演習を中心とし、解説を加えながら、授業を展開する。 授業中に指名し、予習の程度や解説の理解の度合いを確認する。				
注意点	「ポートフォリオ」には、小テストの点数や提出物などが含まれる。 「態度」には、出欠や授業に対する姿勢を数値化したものが含まれる。 小テストの準備も含めて、教科書の予習・復習を行うこと。 学期中に1～2回TOEICを受験することが望ましい。 また、実用英検、工業英検についても受験することを推奨する。 令和2年度前期は、ポートフォリオ(毎時間出される課題)60%、試験30%、ポートフォリオ(宿題として出される課題)10%の比率で成績を出す。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	イントロダクション 授業の進め方についての説明 Unit 1Travel	教科書、教材の確認を行う。 Unit 1の内容についての流れを確認する。 人物の動作、WH疑問詞、会話問題、トークの話題を聞き取る、品詞、語彙問題、概要に関する問題に取り組む。	
		2週	Unit 2 Dining Out	Unit 2の内容についての流れを確認する。 人物の動作、WH疑問詞、会話問題、トークが行われている場所の特定、品詞、語彙問題、詳細に関する問題に取り組む。	
		3週	Unit 3 Daily Life	Unit 3の内容についての流れを確認する。 人物の動作、WH疑問詞、会話問題、トークから話し手の働いている場所や部門の推測、品詞、語彙問題、推測させる問題に取り組む。	
		4週	Unit 4 Entertainment(現在・過去・未来・進行形)	Unit 4の内容についての流れを確認する。 光景①、WH疑問詞、会話問題、トーク内の質問・依頼を聞き取る、代名詞① Not問題	
		5週	Unit 5 Purchasing (完了・完了進行形)	Unit 5の内容についての流れを確認する。 人物の位置・場所①、WH疑問詞、会話問題、トーク内の提案・申し出を聞き取る、時制(現在・過去・未来) 代名詞② 意図問題①	
		6週	Unit 6 Offices	Unit 6の内容についての流れを確認する。 人物の位置・場所②、WH疑問詞、会話問題、直前のトーク内の展開から話し手の発言の意図をくみ取る。 聞き取る。主語と動詞の一致 代名詞③ 文挿入問題①	
		7週	Unit 7 Clients	Unit 7の内容についての流れを確認する。 人物の位置・場所③、Yes/No疑問文、図表問題、能動態・受動態 時制① 複数の文書に関する問題	
		8週	Unit 8 Recruiting	Unit 8の内容についての流れを確認する。 光景②、Yes/No疑問文、トークから話し手・聞き手の種別を判断する 動名詞・不定詞 時制② 概要に関する問題	

4thQ	9週	Unit 9 Personnel	Unit 9の内容についての流れを確認する。人物の動作④、Yes/No疑問文、会話問題、トークから話し手が報告している問題を把握する 比較 時制③ 詳細に関する問題②
	10週	Unit 10 Advertising	Unit 10の内容についての流れを確認する。光景③、付加疑問文、会話問題、トークの目的を理解する 前置詞 接続表現① 推測させる問題②
	11週	Unit 11 Media	Unit 11の内容についての流れを確認する。人物の動作⑤、否定疑問文、会話問題、トーク内の特定の情報をキャッチする 接続詞 接続表現② 同義語問題
	12週	Unit 12 Finance	Unit 12の内容についての流れを確認する。光景④、依頼・許可、会話問題、トークの内容の理由・原因を理解する 接続詞・前置詞 接続表現③ Not問題②
	13週	Unit 13 Meetings	Unit 13の内容についての流れを確認する。人物の動作⑥、提案・勧誘、会話問題、トークの話し手・聞き手の次の行動やこれから起こることに注目する 関係代名詞 文選択問題① 意図問題
	14週	Unit 14 Sales & Marketings これまでの総復習	Unit 14の内容についての流れを確認する。光景⑤、選択疑問文、会話問題、トークの展開から間接的な発言の意図を理解する・語彙① 文選択問題② 文挿入問題②
	15週	定期テスト	これまで学習した範囲のテストを行う。
16週	解答・解説	定期テストの解答・解説を行う。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4		

評価割合

	試験	ポートフォリオ	態度				合計
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100
基礎的能力	60	30	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0